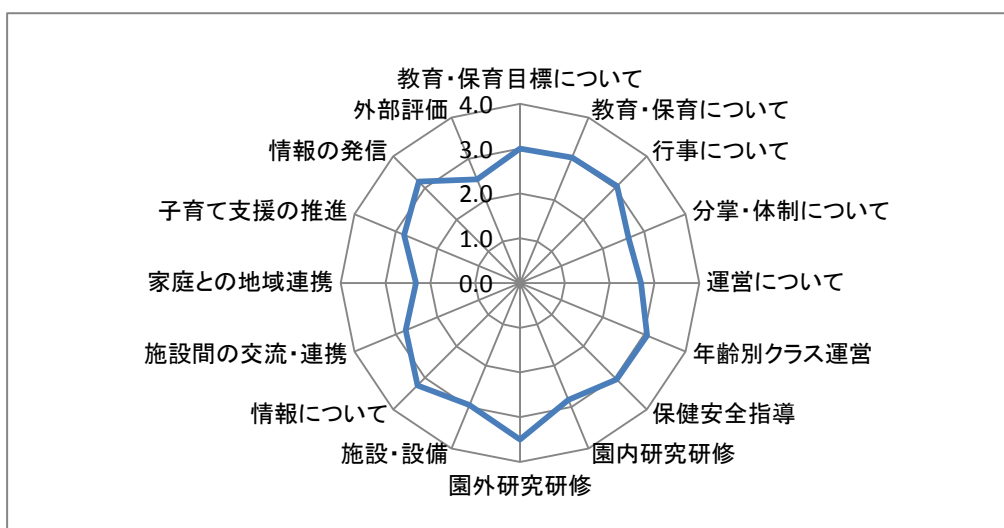


平成29年度認定こども園 みどり幼稚園 自己点検・自己評価

(4点満点)

	平成29年度		平成29年度
教育・保育目標について	3.0	園外研究研修	3.5
教育・保育について	3.0	施設・設備	3.0
行事について	3.1	情報について	3.2
分掌・体制について	2.6	施設間の交流・連携	2.8
運営について	2.7	家庭との地域連携	2.3
年齢別クラス運営	3.1	子育て支援の推進	2.8
保健安全指導	3.1	情報の発信	3.2
園内研究研修	2.8	外部評価	2.5



総合評価

平成29年4月1日より幼保連携型認定こども園に移行した。保育と教育のふたつを合わせ持った教育機関であるが、保育と教育の関わりの時間に違いのある園児を受け入れることに、戸惑いを持ち、体制を整えていくことが、とても難しい一年であった。教育部門では今までの教育目標、教育方針を踏まえて年間計画を立て、園児達が様々な経験、体験を積み、集団生活の中で社会性を身に付けていくことが出来るように、保育者同士が共通理解を持ち、環境設定に配慮して年齢に沿った保育活動を行った。異年齢交流や幼保小教育交流も定期的に行い、良い成果に繋がっている。預かり保育の定期利用、一時利用者も増加、また未就園児クラス(トリスクール)の保育も順調で、子育て支援の役目も果たしてきた。中学生の職業体験の受け入れ、高校生との交流等も行い連携も進んでいる。また保育部門では経験のある保育教諭が1、2歳児の保育計画を立て、基本的な生活習慣の樹立を目指し保育を行った。保育活動に共通理解を持って関わる事が大切である。長時間保育利用園児の関わりは保育部門から教育部門へつながりを持ち、こども理解に大きく影響している。教職員は認定こども園の理解を深め、自己研鑽し、改訂された新教育・保育要領に基づいて、保育活動を行っていくことが、今後の課題である。